

センス・オブ・ワンダー 我孫子 谷津ミュージアム訪問

3月5日

参加者 11名

10時に東我孫子駅に集合、そこから10分程度歩くと、もう谷津ミュージアムの入り口です。ミュージアムといっても建物があるわけではありません。その場所全体が自然を豊かに残した野外博物館として保護されているのです。暖かい日で、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、タネツケバナなど、いろいろな花が咲き乱れて絨毯のようです。ヨモギ、カラスノエンドウ、セリなどを摘みながら歩いていきました。

鳥の声もいろいろ聞こえます。ウグイスでしょうか。小さな川沿いの葦原に、黒い頭が見えていました、双眼鏡で見ると、キジです！それも、2匹も。我々が歩いていくと、一旦は全部姿を見せてその後草の山の中にすっと入っていきました。お散歩の最後には、河口でコブハクチョウ、我孫子市の鳥オオバンの群れにも出会えるというビッグなお土産もありました。コースの途中のホタル・赤ガエルの里では卵からかえったばかりの小さなオタマジャクシが群れていました。

今日は啓蟄だとか。虫たちも出てきているようです。畑のブロッコリーのまわりにはモンシロチョウ、葉っぱの上にはテントウムシ、今年初めて見る者たちでした。やあ、また出会えたね！と、うれしいです。

さて、今日の目的の一つは野草の天ぷらです。道々摘んだ草たちを天ぷらにして食べると、そのおいしいこと！粉や油、ガスなどすべて用意して揚げてくださったSさんに感謝です。通りかかったSさんの知人が、摘んだばかりのフキノトウをくださったので、それもおいしい天ぷらになりました。

目、耳、手、鼻、口、と文字通り五感をフルに使って春を感じた観察会でした。

レイチェルカーソンあびこの皆さま、楽しい春の一日をありがとうございました。

文責：小川真理子

